



竜王町りゅうおう

議会だより

No.159
2012.5.1

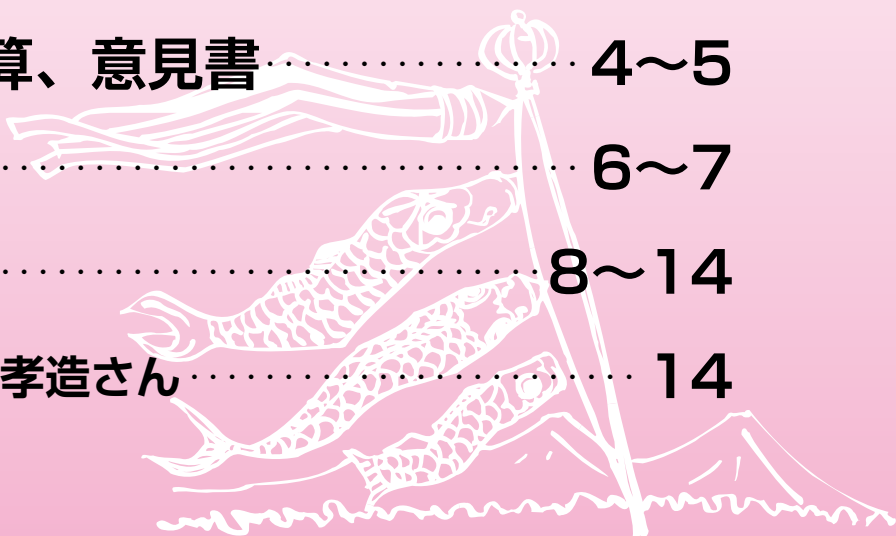
RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



第14回さくらまつり（妹背の里）

- 平成24年度竜王町予算..... 2～3
- 条例関係、補正予算、意見書..... 4～5
- 各委員会報告..... 6～7
- 一般質問..... 8～14
- いきいき人生 中江孝造さん..... 14





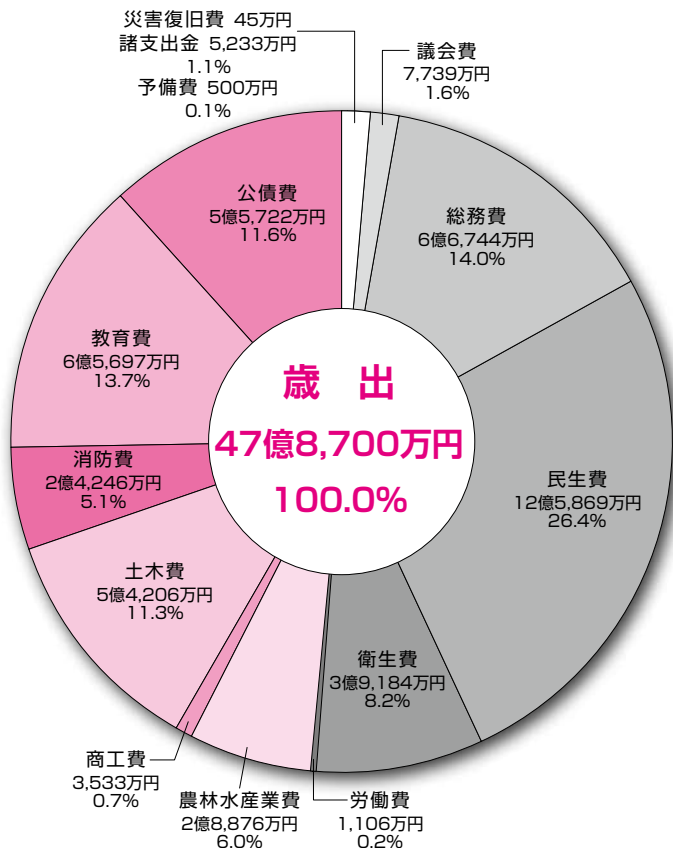
こどもひろばの様子



竜王小学校（本年度改修予定）

極型予算

会計の内訳



平成24年第1回定例会は、3月2日から23日までの22日間の会期で開かれました。提出された議案は、条例関係8件、平成23年度補正予算関係7件、平成24年度予算関係8件、請願3件、意見書1件、規約変更2件でした。（条例改正は4頁に関連記事があります。）

平成23年度一般会計補正予算は、1億8194万4千円増額し、52億9676万1千円になりました。

平成24年度予算は、一般会計については予算第1特別委員会、特別会計については、予算第2特別委員会を設置し集中審査を行いました。

町税収入が前年度より増額

平成24年度の一般会計と特別会計・公営企業会計合わせた予算総額は、78億1371万円。一般会計は、47億8700万円。円で、前年度比2.5%、1億1600万円の増額となりました。これは、町税全体で前年度より1億1503万円の増、基

金の取り崩しなどで、平成20年度一般会計以来、4年ぶりの前年度に比べて積極型予算となりました。

平成 24 年度竜王町の予算

(△は減 単位：万円、%)



会 計 名			平成 24 年度 当初予算額	平成 23 年度 当初予算額	前年度比較	
					増減額	増減率
一 般 会 計			47 億 8,700	46 億 7,100	1 億 1,600	2.5
特別会計・企業会計	国民健康保険事業（事業勘定）		9 億 7,760	10 億 1,400	△ 3,640	△ 3.6
	国民健康保険事業 （施設勘定）	医科	8,860	8,700	160	1.8
		歯科	5,440	4,920	520	10.6
	学校給食事業		6,100	5,900	200	3.4
	下水道事業		6 億 3,270	6 億 3,400	△ 130	△ 0.2
	介護保険		6 億 6,490	6 億 1,470	5,020	8.2
	後期高齢者医療		8,170	7,100	1,070	15.1
	水道事業	3 条	3 億 0,027	3 億 2,382	△ 2,355	△ 7.3
		4 条	1 億 6,554	8,625	7,929	91.9
	計		30 億 2,671	29 億 3,897	8,774	3.0
総 額			78 億 1,371	76 億 0,997	2 億 0,374	2.7

4年ぶりの積

主な事業

1.豊かな自然と歴史を誇るまちづくり

○河川総務費・一般管理費
（河川愛護作業補助金を含む） 869万円

○文化財調査事業 2,397万円

2.みんなが安心して暮らせるまちづくり

○児童手当 2億0,025万円

○学童保育所施設整備事業 4,387万円

○防災計画策定事業 1,410万円

○35人学級実現事業
（小学校管理費） 647万円

○障害者施設整備等事業 1,300万円

3.チャンスを活かすたくましいまちづくり

○果樹園芸農業経営支援
事業 250万円

○学校図書館運営員配置
事業 515万円

○農地・水・環境保全向上
対策事業 2,924万円

○篠原駅周辺都市基盤整備
事業 1,874万円

4.市民と行政の協働により築く オリジナルのまちづくり

○まちづくり活動支援事業 100万円

○人権問題住民意識調査実施 258万円

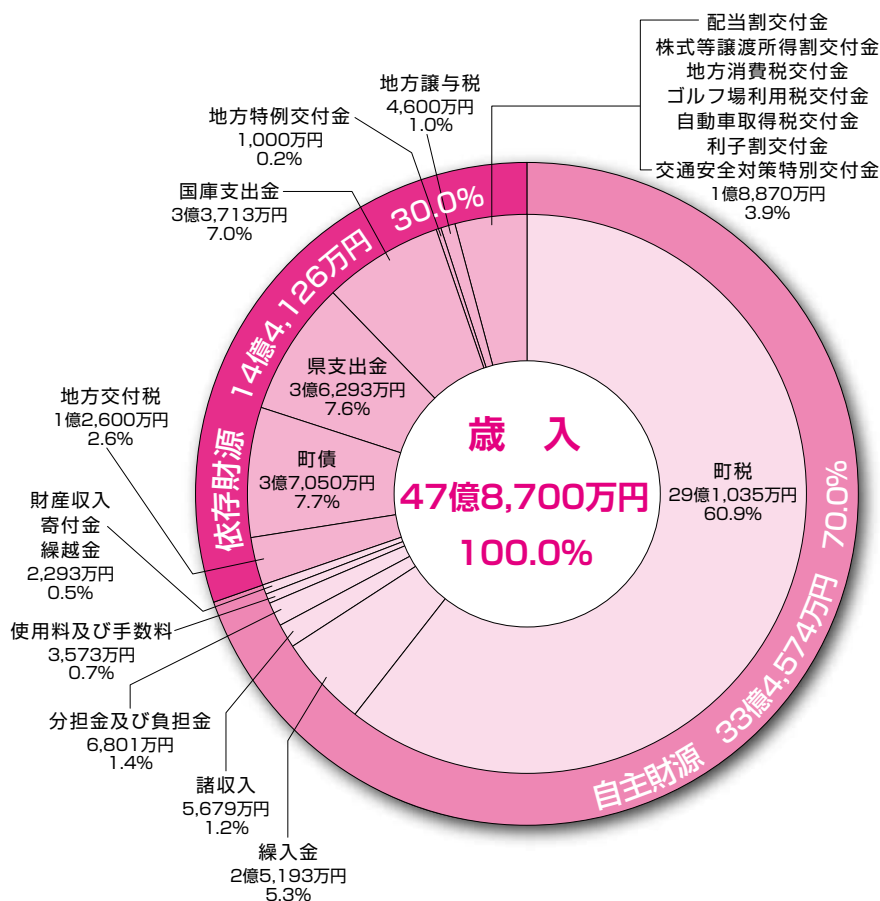
○給食センター備品購入 1,796万円

5.その他

○竜王小学校改築基金積立 5,000万円

○ホームページ更新強化
（広報・広聴事業） 225万円

●平成 24 年度一般



条例が制定されました

竜王町立竜王小学校 校改築基金条例

10年後をめどに予定されている竜王小学校の改築の

財源を、計画的かつ安定的に確保するため、新たに基金を造成するものです。

(全員賛成で可決)

条例が改正されました

竜王町印鑑の登録 および証明に関する 条例

竜王町非常勤の職員 の公務災害補償 等に関する条例

住民基本台帳法の一部を改正する法律等が平成24年7月9日に施行されることに伴い、印鑑登録証明事務処理要領の一部改正および外国人登録法が廃止されることから改正するものです。

(全員賛成で可決)

上位法が改正され、引用している竜王町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例、竜王町障害者自立支援条例および竜王町消防団員等公務災害補償条例について一部改正するものです。

(全員賛成で可決)

竜王町税条例

「地方税法の一部を改正する法律」他、上位法が制定公布されたことに伴い一部改正するものです。

改正の主な内容は、法人実効税率の引き下げと、課税ベースの拡大措置に伴う道府県と市町の増減収を調整するため、道府県たばこ税の一部が市町たばこ税に税源移譲することにより町たばこ税を千本につき644円の引き上げを行うものです。

その他、退職所得に係る住民税所得割の10%税額控除の廃止、東日本大震災からの復興を図ることを目的として、平成26年度から平成35年度までの各年度分の個人住民税の均等割の標準税率について年額500円を加算するもの等です。

(全員賛成で可決)

竜王町立図書館設置条例

図書館法の一部改正が行われ、委員の任命基準は文部科学省令で定める基準を参酌し、学校教育および社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者ならびに学識経験のある者とした基準により、竜王町立図書館設置条例中に図書館協議会の委員の任命基準を定めるものです。

(全員賛成で可決)

竜王町介護保険条例

介護保険事業は、3年を一期として計画を定めるものと介護保険法に規定されており、第5期の計画策定を行いました。

国においては、介護従事者の処遇改善を図る介護報酬の引き上げが主要内容です。

竜王町においても、第

5期における介護給付費の推計見直しを行い、介護保険料を基準額で年額4万7040円と決定し、条例9条の項目の中に第7段階を新設し、所得段階区分を改正するものです。

(賛成多数で可決)

次の条例が 廃止されました

竜王町光をそそぐ 交付基金条例

(全員賛成で可決)

竜王町介護従事者 処遇改善臨時特例 基金条例

(全員賛成で可決)



図書館内の様子

平成23年度
一般会計補正予算

補正予算(第6号)に1億8194万4千円を追加し、予算の総額を52億9676万1千円に改めるものです。

主な補正の内容は、年度末を迎え、各事業費、事業量の確定および節減に努めた結果、国・県負担金や補助金などの歳入歳出予算の調整を行うとともに、これらを財源として、歳入では平成24年度以降の財政運営をより安定的に行うため、既に予算化している財政調整基金繰入金の減額です。

歳出では平成24年度において着手を予定していた竜王小学校改修工事を国の交付金の追加交付が行われたことによる前倒ししての増額、また、平成21・22年度に引続いて、平成23年度においても公債費および町債残高の縮減に向けた繰上償還を行うための増額などです。

(賛成多数で可決)

平成23年度一般会計補正予算の主な内訳

(単位 千円)

(単位 千円)

歳出 (主なもの)		歳入 (主なもの)	
竜王小学校施設整備事業 (改修工事)	207,900	個人町民税	△2,596
竜王小学校施設整備事業 (一般管理用備品他)	9,050	法人町民税	27,646
子ども手当	△55,021	固定資産税	75,436
町道松陽台安養寺線土地取得費	△35,794	地方消費税交付金	35,649
下水道特別会計繰出金 (公共下水道)	△19,880	子ども手当負担金 (国庫)	△55,703
農業体質強化基盤整備促進事業 (工事請負費)	7,000	財政調整基金繰入金	△181,013
償還元金	146,132	前年度繰越金	120,707
人件費補正	22,404	小学校大規模改造事業債	142,900

環太平洋経済連携協定 (TPP)

交渉に関する意見書

TPP交渉への参加は農水産業をはじめ、医療・社会福祉、金融・保険などのサービスの自由化、食品、医薬品認可の安全基準などの国内制度の規制緩和や撤廃など、国民の生命に直結し、生活に計り知れない影響を与えるものです。

よって、政府および国会におかれては、わが国の国民生活、社会に与える影響を十分配慮し、下記の事項を実施されるよう強く求める。

合意と了解のないまま交渉の事前協議に参加の方針は即時撤回すること。

二、わが国の食料安全保障の観点から必要な関税による国産農畜産品の保護や誰もが等しく医療を受けるための国民皆保険制度など、国民のいのちと暮らしを守る重要な制度・仕組みを堅持すること。

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

他

記

一、TPP問題について情報開示せず、また国民の

総務産業建設常任委員会



松が丘、石綿管の布設替工事現場

松が丘の石綿セメント管の更新布設替工事の現場を視察しました。

議員から「町内に石綿管はまだ残っているのか。工事中の給水はどうしているのか」との質問したところ、「町内には全長4・8 kmの石綿管があり、松が丘の工事が終わると残りは、ほぼ4 kmになります。

続いて、道の駅「竜王かがみの里」の売り上げは部門別には特産品や農産物、全体売り上げも順調に伸びており、今年度1月末現在で3億1千万円を超えています。来館者は昨年、アウトレット開業により、前年比15%の増となり、約71万人の来客となり

ましたが、今年度はほぼ70万人となる見込みです。

主な質疑応答

問 商品開発はどのようにしているのか。

答 社内でも話し合いますが、「J Aや役場の意見も伺いながら、試行錯誤しています。商品化しても売れないものは製造をとめます。100作っても売れるのは1つか2つです。



「竜王かがみの里」視察研修

地域活性化特別委員会

(仮称)竜王岡屋工業団地造成事業について

2月26日に竜王町住民を対象とした環境影響評価準備書の地元説明会等の報告を受けました。

主な質疑応答

問 地元の質問・要望に対して丁寧な対応をしてもらえるのか。

答 これから実施設計に入るので、地元の意見、要望については県に対して意見を上げていきます。

三井アウトレットパーク滋賀竜王の動向について

第Ⅱ期工事の開発計画



三井アウトレットパーク滋賀竜王 第Ⅱ期工事予定地

新規企業エイエフティ(株)の進出について

ダイハツ工業(株)とダイキョーニシカワ(株)が共同でプラスチック樹脂部品を生産するための工場を竜王町鏡地先に設立しました。今年の6月に着工して来年10月に生産開始の予定です。

は、P1駐車場に建物を建設して、1・2階が駐車場、3階部分が店舗になり既存店舗の2階と繋がり、店舗数は50・60店舗を予定されています。工事着工は今年の夏頃で来年夏頃に開業の予定です。

教育民生常任委員会

国民健康保険制度と 竜王町の現状について

医療の高度化や人口構造の変化により医療費が自然増する中、その支出に見合う税額の構成や国庫、県費等の補助について適正に執行されており、医療費の増加に対しても重複頻回受診者への訪問指導、特定健診の受診率を上げるため、独自の保健事業等を実施し、医療費の適正化に向けても努力されています。

主な質疑応答

問 応能割、応益割の負担割合は、どうなっているのか。

答 税法上は、応能割50%、応益割50%となっており、当町

においてもそのようなになっております。

介護保険制度と竜王町の現状について

第5期の高齢者保健福祉計画を策定し、その中で介護保険料を定め、所得段階別の保険料率を第6段階から第7段階へ変更し、また介護保険準備基金から繰入をするなどをし、介護保険料の上昇を抑え、適正な介護保険制度の執行に努力されています。

主な質疑応答

問 地域密着型の計画はどのようなになっているのか。

改正された介護保険料

段 階	対 象 者	負担割合	保険料年額
第1段階	生活保護受給者など	基準額 × 0.50	23,520 円
第2段階	住民税非課税世帯 (年金+所得) ≤ 80万円	基準額 × 0.50	23,520 円
第3段階	住民税非課税世帯 2段階以外の人	基準額 × 0.75	35,280 円
第4段階	本人住民税非課税	基準額 × 1.00	47,040 円
第5段階	本人住民税課税 所得 < 190万円	基準額 × 1.25	58,800 円
第6段階	本人住民税課税 190万円 ≤ 所得 < 380万円	基準額 × 1.50	70,560 円
第7段階	本人住民税課税 所得 ≥ 380万円	基準額 × 1.75	82,320 円

(注) 基準額は 47,040 円です。

答

高齢者保健福祉計画で整備計画を立てています。町内にグループホーム

1カ所、小規模多機能型居宅介護施設を1カ所整備する予定です。

議会基本条例 推進特別委員会

本委員会は、「高千穂町議会の運営に関する先例・申し合わせ事項」(平成21年9月改定版・全30ページ)をテキストに、竜王町議会として決めておくべき事項について4人のグループを作り、ワークショップ形式で検討することになりました。

今回のワークショップでは、議会運営上経験のない項目もあり、検討が進まないこともありましたが、「学習の材料となった」との感想も出されました。次回は続きから検討し、6月の「近隣議会視察調査」、「議会懇談会」(テーマは「竜王小学校の改築について」と「若者との意見交換」を予定)についても検討をすることになりました。



議会基本条例研修受入れ (鳥取県智頭町)

みなさんの声を町政に届けます

一般質問

10議員が19問

- ①町内一周ウォーキング大会の開催を
- ②（仮称）竜王岡屋工業団地の開発における町民の意思反映について
- ③T P P交渉参加反対の一点で町民の意思を示そう
- ④教育行政基本方針に基づく「教育でまちづくり」について
- ⑤祖父川の河川改修計画について
- ⑥竜王町防災計画策定事業について
- ⑦企業誘致の予算措置・諸施策について
- ⑧ドラゴンハットの南側にトイレの新設を
- ⑨都市計画マスタープランの取り組みについて
- ⑩定住促進の取り組みについて

内山 英作議員
松浦 博議員
若井 敏子議員
岡山 富男議員
西村 公作議員
小森 重剛議員
古株 克彦議員
竹山 兵司議員
菱田 三男議員
山田 義明議員

答 推進計画策定委員
会、各関係機関・団体のヒアリング等において、ウォーキングの普及推進への意見が多くありました。
まずは、地域でのウォーキングの普及、既存の団体活動とも連携し、点から線、そして面へと広げ、最終的には全町へと拡大

問 平成24年度から「スポーツ推進計画」がスタートする。町民の運動へのきっかけづくり、健康増進、スポーツの日常化、人とのふれあい、ボランティア、観光関連など様々な方面への波及効果があるが、この機に大会の企画をしてはどうか、伺う。



内山 英作議員

また、参加者を町外へも呼びかけ、スポーツの町「竜王」をアピールすることや町内の景勝地や食事をウォーキングコースに組

していきます。
その過程で、町民運動会が開催されない年などの、三年、五年の節目に到達目標の一つとしてウォーキング大会の開催を位置づけ、順にその規模を拡大することで、交流の輪が広がり、町民全体の健康増進へと進めていくことも狙いとしています。

町内一周ウォーキング大会の開催を
地域と連携し普及を図ります



ウォーキングの様子

み込むことで観光PR、そして、自らの町の魅力再発見にも通じ、更には、ボランティアによる大会運営への協力など町民が主体性を持ったスポーツ活動を通してまちづくりが図れます。

一般質問



松浦 博議員

問

事前説明会において要望や質問を町当局はどのように把握されているのか。

また、具体的な対応とその経過・結果について。

人口増加と住宅政策および先進的な環境対策について。

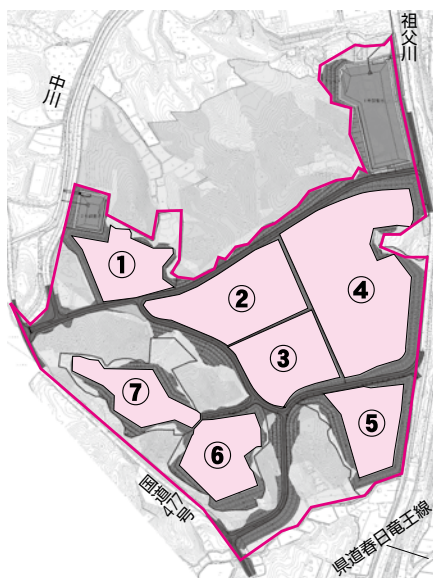
答

議会特別委員会・地元三自治会・

住民説明会において、共通して出された意見要望は『懸念材料が「水」と「交通」であり、造成区域のみならず、その周辺に影響する諸問題（広域の交通渋滞・水防対策等）をしっかりと対応してほしい』とのことと認識しています。

意見要望は事業主体で

**（仮称）竜王岡屋工業団地の開発における町民の意思反映について
意見要望を取りまとめ知事に提出します**



工業団地造成図

ある滋賀県ならびに滋賀県土地開発公社と、具体的に計画を協議する中で、しっかりと反映されるよう要請します。また環境アセス面でも町として意見要望を取りまとめ、知事に提出します。いずれにしても県と町の連携はもとより、町や地元の窓口を整え、情報提供や意見交換を行います。

「環境影響評価基準書」の中では、1280人の中

雇用創出という試算があります。総合計画では、人口の受け皿として、「未活用資源の活用」や「新たな受け皿づくり」として、概ね800世帯の住宅地確保を念頭におき、実現に努力傾注しているところです。

一方、企業立地に対して、県企業誘致推進室と密接に連携して、優良企業の早期立地決定に向けて取り組みます。



若井 敏子議員

問

滋賀県では町村会やJA、医師会などが呼びかけて、

TPP交渉参加反対の一点で、県民会議が結成され、みんなで声を上げ、行動しようと呼びかけられた。竹山町長も呼びかけ人だが、思いを伺う。

今後の進め方として、「地域ごとに取り組みが広がるように努める」とされているが、具体的な行動計画についての考えを伺う。

県民会議への入会勧奨、町民を対象に学習会の開催、同時に竜王町の思いを伝える集会の開催などをしてはどうか。

答

町としての取り組みは、賛同される個人や団体とともに

**TPP交渉参加反対の一点で
町民の意思を示そう
学習し、集会に参加し、行動しよう**

にその思いを地域の輪として広げ、農業だけの問題として捉えるのではなく、広く日常の暮らし全般に影響する問題として捉え、学習し、集会に参加し、加し、合意と了解のないTPPには参加しない行動へと広げていくことが必要だと考えます。議員各位のご協力をお願いします。



県民会議結成総会



岡山 富男議員

「教育行政基本方針に基づく 「教育でまちづくり」について 教育の充実に邁進して行きます

問 「教育行政基本方針」に基づく、学校・園を中心とした学校教育と、公民館・図書館等の連携を充実させるにはどのように考えているのか。

また、ふれあい相談発達支援センターの機能を活かし、子どもたちの持てる力を高めるための支援をされるのか。

次に、人権教育で「いのちの大切さ」から、いじめはどのような対応を考えているのか。

また、ふれあい相談発達支援センターの機能を活かし、子どもたちの持てる力を高めるための支援をされるのか。

答

新しい学習指導要領に基づく教育課程を実施することとしています。

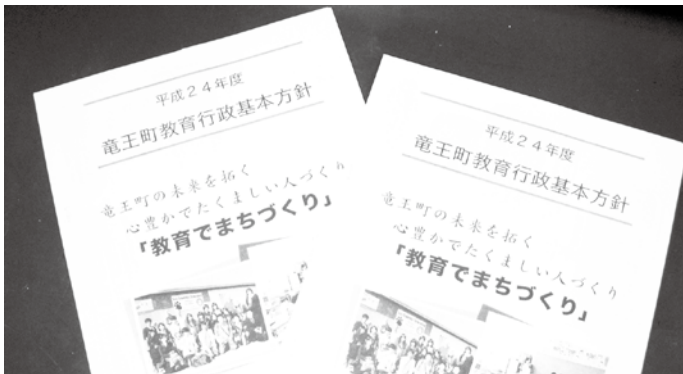
次に就学前教育充実を図るため「預かり保育」を本格実施し、子育て支

援を軸に指導体制、内容の充実を人的配置の強化により図る予定です。

図書館の推進では、まず、学校園との連携の強化、また、町内企業や事業所へ図書館活動等のPRをしていきます。

ふれあい相談発達支援センターとの連携につきましては、個々の生徒に対して円滑な支援に努めているところですが、

いじめの問題については、「いじめはどの子にも起こり、どの学校にも起こり得る」という危機感を常に持ち、教員が



「教育行政基本方針」の冊子

問

昨年は、台風12・15号の大雨で祖父川沿川集落は避難準備の対応に追われました。祖父川の川幅は土砂や草木が茂っており、大変狭くなって水の流れをせき止めています。災害のことを考えると早く鵜川より上流の河川改修を実施してほしい。

鵜川神部橋より上流の河川改修計画は考えているのか。また、いづころしてもらえるのか。

答

県では、今後おおむね20年間をめどに河川整備を進める「滋賀県中長期整備実施河川計画」を策定されています。

日野川については、下



西村 公作議員

祖父川の河川改修 計画について 県の河川整備計画により進められます

流域より順次、河川改修を進めており、現在は野洲市小南地先の光善寺川まで改修が進んでいます。今後鵜川で事業を実施されるまでには、まだまだ時間が要すると考えられ、祖父川はその後に

なると考えます。しかし、今後も堤防の質的向上を図る事業や施設の老朽化や不具合箇所、河道の流下能力阻害箇所の対応についても要望していきます。



祖父川の現況



小森 重剛議員

竜王町防災計画 策定事業について

現計画の補強や見直しを行います

問

平成24年度の予算において新規事業として、防災計画策定事業（地域防災計画の見直し）が計画されている。

従来の地域防災計画について何をどのように見直される考えなのかを伺う。

また、県の「流域治水基本方針」を前提にした見直しなのか、それとも町独自の見直しか、および「流域治水基本方針」ならびに関連する条例制定に向かう県に対し、町としてどのような考え方を・意見を持って臨まれてきたのか、また今後どのような考え方で臨まれるのか伺う。

答

今回の見直しは先の見直しから5年が経過しており、東日本大震災を受け、とりわけ原子力災害対策計画について新たに策定をします。

本町の持つ特有の地域性や独自性などを熟知するため防災アセスメントを実施し想定される災害に対し被害想定を行い、有機的に対応した計画とします。

「減災」への取り組みとして、大雨・洪水において的確な状況把握と的確な避難判断、情報伝達など人命を最優先にした現計画の補強や見直しを行います。

また、「流域治水基本方針」を前提にした見直しではないが参考にはして



中津井川（弓削）増水による浸水状況

いきます。

町として今日まで県に対し、

①治水事業により河川の水位を低下させる事業を計画的に進める。

②スムーズな内水排除の取り組み。

③トランク河川の整備。

④河道内の維持管理。

を求めて臨んできました。

今後この考え方で臨んでいきます。

問

平成24年度の行政執行方針で述べておられるように、財政基盤を確固たるものにする上で企業誘致は重要である。

そこで企業誘致に関わる平成24年度の予算措置および企業誘致に向けての諸施策について伺う。

答

平成24年度の企業誘致関係の予算措置として、「竜王町企業誘致等経済活性化方針策定業務」での委託費30万円が上げられます。この方針策定委託費については、これまでの蓄積したノウハウ・情報などを活かしながら、企業誘致のガイドラインを一定整理するものです。

次に、企業誘致に関す



古株 克彦議員

企業誘致の予算措置・ 諸施策について

専任体制による組織強化を図ります

る諸施策は、優先すべき重点施策の一つとして位置付け、まずは、企業誘致推進活動のための組織体制の強化を図り、集中的かつ精力的に取り組み考えです。

対策室」として政策推進課内へ再編統合し、積極的推進を図るものです。

新年度から、新たな動きが見えてきた幾つもの企業進出動向に対する誘致推進に加えて、人口増加に結びつく住宅地誘導等に対して、現在の、政策推進課「企業誘致推進室」および建設水道課「定住促進対策室」を、専任体制による「定住・企業誘致



エイエフティ（株）建設予定地（鏡工業団地）



竹山 兵司議員

問

総合運動公園の利用者から、ドラゴンハットの南側出入口にトイレの新設が望まれているが、計画はあるのか。

答

総合運動公園の汚水処理は、合併浄化槽にて処理をしています。施設の利用状況は、平成23年4月から平成24年2月末までで、「ドラゴンハット9万7206人」「スポーツセンター7万5600人」「研修センター18040人」であります。

ドラゴンハットのトイレでは大きな問題はありますが、大規模なイベント事業では主催者が仮設トイレ設置承認書を提出し、主催者の責任によ

ドラゴンハットの南側に
トイレの新設を

トイレの新設の計画はありません

り適正に処理をしていた
だいております。

南側出入口へのトイレ
の新設については、利用

者の利便性を著しく欠く
ような状況ではありません
ので、計画はしており
ません。



ドラゴンハット南側付近

問

竜王町都市計画マスタープランに策定されている総合庁舎周辺の中心核整備の取り組みについてですが、町の多大なるご尽力により商業・業務機能ゾーンに平和堂を誘致して頂きました。残すは住居機能ゾーンの整備のみであり、このマスタープランに示されている住居機能ゾーンの具体的な実施計画について説明願いたい。

答

都市計画マスタープランに定める総合庁舎周辺の住居環境機能ゾーンの整備であります。現在の庁舎周辺地区計画の区域面積約7.0haには含まれていな



菱田 三男議員

都市計画マスタープランの
取り組みについて

調査・研究を進めていきます

いことから、現在の地区計画区域変更または新規地区計画の策定が考えられます。地区計画の策定にあたりましては、土地所有者の同意はもちろんですが、地元自治会の合意に基づいてそれぞれの地区にふさわしい整備計画を進めていく考えです。

さらに農業振興地域の農用地区域であり、農地法が厳しくなっており、課題等も多くあります。

地域のニーズに基づく適正な規模での整備計画が定められるよう課題整理を行いながら調査・研究を進めていきます。



小口から庁舎周辺を望む

一般質問



山田 義明議員

問

既存集落周辺の地区計画、企業独身者の退寮後の町内誘導策、IC周辺町有地の宅地としての土地活用、空き家活用に対しての補償や補助、また、安全安心の対策について伺う。

答

既存集落周辺の地区計画は現時点では、集落内でまとまった住宅地の確保には至りませんでした。今後も引き続き計画設定地域を絞り込みながら進めます。

単身者住宅の誘導策については、現在は民間事業者において小口地先で建設が進められています。が、町内企業からの協力と理解を得ながら進めます。

IC周辺町有地活用に



対策が待たれる空き家

定住促進の取り組みについて

住民さんの理解や協力を得ながら進めます

について、庁内でも定住対策の一つとして議論しており、今後さらに検討を進めます。

空き家対策では、防災面や環境面での課題を心配されている自治会も多

く、今後は所有者から利用計画を聞き有効活用や地域にふさわしい方策を追求し、求める側のニーズも把握しながら進めます。

こんな質問もしました

内山英作議員

問

国内姉妹町との交流提携の復活について

答

山梨県甲斐市(前竜王町)、鹿児島県龍郷町、福島県新地町とは交流継続中です。新たな姉妹市町との提携による交流事業

も事業効果として定住人口の増につながると期待もあり、新たな交流も求めています。

問

地域福祉の将来構想について

答

人と人とが支え合える地域を計画的に構築・推進するために地域福祉計画を策定します。町が策定す

答

平成21年度に実施した結果、経済効果が出ていると確信していますが、助成対象者が限定されるため、今後は定住人口増加対策など地域経済活性化をめざして検討しなければならぬ時期だと考えます。

問

ボランティア・町民活動センターの設置について

答

竜王町ボランティア・ティアセンターが、身近な存在となり、多くの町民から参画してもらえよう。社会福祉協議会と調整し、進めていきます。町と社会福祉協議会が相互にボランティアセンターの役割を認識し、発展的に展開していきます。

若井敏子議員

問

住宅リフォーム助成の事業化を

答

竜王の保育と「子ども・子育て新システム」について

ひまわり保育園において、平成24年度は194人の希望があり、待機児童を出すことになりました。今後増加が見込まれますので、中期的な対応として、駐車場に乳幼児の施設整備をしていただき、長期的にはさらに施設の充実が必要だと考えています。「新システム」については、導入が必要不可欠であると考えています。

(次ページに続く)

問 働きがい、生きがいのある職場づくりを

答 現在の労働環境は日々、厳しさが増しています。労働者の所得を上げるには、労働生産性を上げることで、採用時に雇用条件を示し理解を得る等、責任者に伝えています。

西村公作議員

問 近江八幡市竹町に建設予定の一般廃棄物処理施設について

答 当施設の建設の受け入れを竹町・新巻町・北津田町が表明され、地質調査等を経て竹町に決定、現在は竹町をはじめ、隣接する地域の環境影響調査を実施されている状況です。
これまで西横関と西川では地元説明会を開催さ

れており、住民皆様の不安や危惧が払拭され安全・安心が保証できる施設となるよう町としても要望

を近江八幡市へしていきます。近江八幡市との話し合いについては、町側は町長をはじめ3名、西横関区は区長さんをはじめ3名の計6名で対応していきます。

竹山兵司議員

問 竜王西小学校の桜が教科書に掲載される予定等について

答 ある教科書会社が小学校4年生の理科の教科書に四季の移ろいを写真等で紹介するため、竜王西小学校長に依頼がありました。
西小学校の桜や校舎、その背後の鏡山が、竜王インターチェンジを降りたところで目に留まったことから、現在、取材は

季節ごとに数回撮影されています。

文部科学省の検定教科書でもあり、全国各地の小学校に依頼され、必ず掲載されるものではありませんが、掲載を期待しています。

問 布引斎苑火葬炉設備改修工事等について

答 現施設は、平成12年度の大改修から10年以上が経過し、燃焼室の耐火レンガの劣化や台車移送装置（遺体尊厳装置）の炉熱影響による歪み、機器の劣化、排気装置の取り替えなど中規模改修が必要です。
そこで平成24・25年度の2カ年で実施されます。工事期間中は安全対策に万全を期し、利用者の皆様にご不便をおかけすることのないよう対応すべきと考えています。

シリーズ いきいき人生

雪野山の里山整備に取り組み

平成16年度に自治会長に就任して雪野山保全整備の必要性を強く感じて、川守として松苗木を植栽するなどの整備をはじめました。以後、率先して雪野山の保全整備に取り組んでいます。

妹背の里が位置する通称松山では、昭和58年に滋賀県の植樹祭が行われて、松が記念植樹されました。

この松が枝打ちや間伐などの手入れが行われておらず、川守青壮年の人々や有志の方々に呼びかけ、毎年作業を実施してきました。

また、その周辺には、竹が年々繁茂しており、竹の伐採や雑草の刈取りをしたことにより、松や周辺の自然木が作り出す昔の里山風景が思い出され、里山の保全整備を続けて行こうと強く

感じました。

私は、石常石材の二代目として、若い時から商売を続け、皆様のおかげで今の姿に成長させることができました。息子に商売をすべて譲り、社会に少しでもお役に立ちたいと考え、以来、ほとんど毎日、雪野山の里山整備の作業に打ち込んでいます。

幸い健康や体力にも恵まれ、木々に囲まれ太陽が降り注ぐ里山とのふれあいと、里山整備の作業に汗を流しています。

妹背の里の近くですので、是非お立ち寄りくだされば光栄です。



川守在任 中江 孝造さん

編集後記

東日本大震災から一年余り。被災された方々にとつては、今日まで大変な苦労をされて来られたと思います。現地の復興支援に向けて、国は、今まで以上に力を入れてほしいものです。特に、福島第一原発事故

により「安全神話」は崩れました。もう二度と事故は起こしてはなりません。人の命、自然環境と経済活動のバランスをどう構築していくか考えていくべきです。

議会広報特別委員会
委員長 内山 英作
副委員長 山田 義明
委員 小森 重剛
貴多 正幸
菱田 三男
蔵口嘉寿男